

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	未取得			3.9			6	7					12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	「里山キャンペーン」のスポットCMや自社番組「伝えよう!里山ものがたり」をはじめ、日々の報道等を通じて環境への取り組みを紹介、啓発活動に努めている。											12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	グリーン電力や太陽光発電を積極的に行っている企業をニュース特集や番組等で取り上げ、啓発を図る。							7.2						13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	環境に配慮した紙を使って、番組表(テレポルト)を発行している。												12.2	13	14	15				
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則の他、「コンプライアンス憲章」を掲げ、社員に周知・徹底させている。																16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則の他、「コンプライアンス憲章」を掲げ、社員に周知・徹底させている。																	16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	特許権・商標登録等の知的財産権の取得・更新・管理を行っている。									8.2	8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護方針についてホームページで公開している。																		16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	企業活動において該当しない。																		16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	環境に配慮した紙を使って、番組表(テレポルト)を発行している。卓上カレンダーをプラスチックケースから環境にやさしいリングに変え、過剰包装もしていない。必要に応じて秘密保持契約を締結している。					5				8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	「考査委員会」、「コンプライアンス委員会」を通じて、健全な放送担保の為に多角的なチェック体制をとっている。また、外部有識者による「番組審議会」を設置し放送内容の向上に努めている。			3.9										12.4						
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	外部有識者による「番組審議会」の設置や、番組の社外モニター等により、放送内容の向上に努めている																9			
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	環境問題を取り上げた番組制作を行っている。						6						12	13	14	15				
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	日々のニュースや自社制作番組を通じて社会課題を取り上げたテーマを取材・放送している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	放送を通じて、災害時にいち早く地域の情報を発信する他、日々のニュース取材等においても正確な情報を発信すべく努めている。				4									9		11	12			14	15			17		
33	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	「24時間テレビ」を放送し、集めた寄附金で毎年福祉車両を施設に贈呈。職業体験やインターンシップを受け入れ、里山保全活動に取り組み、県内での植樹活動などを継続している。				4													11				14	15			17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地産、地産外商）している	チャレンジ	社員食堂で地産地消メニューを提供している。地域応援番組「伝えよう！里山ものがたり」の取り組みを通じて間伐材の積極利用を実施している。													8	9			11	12	13						
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	会社理念を社内に掲示し、社員全員で共有するとともに、中期経営計画である3か年計画を立案し、イントラネットで社員がいつでも閲覧できるような環境を整え共有している。														8	9									17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	「コンプライアンス憲章」を掲げ、社員に周知するとともに社内に「コンプライアンス委員会」を設置し法令順守の体制を整えている。																								16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	放送が社会に及ぼす影響を理解したうえで、放送番組基準を設け、それに沿って番組・CM等の放送活動を行っている。																								16	
38	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	一般から「社外モニター」を募集、外部の有識者から「番組審議会」の委員を委嘱し放送におけるステークホルダーへの影響等を把握している。																							16	17	
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	考査事例(BPO案件等)を社内で共有して先を読むスキルを身に着けるための教育を行っている。																								16	
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	ホームページに掲げている「放送番組基準」に従って、不偏不党の立場に立った放送に取り組んでいる。																								16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	災害時・緊急時における放送継続を第一に「災害対応マニュアル」を作成し、都度訓練を実施している。また、社内にBCP委員会を設置し、緊急時の事業継続に向けての体制を整えている。																9			11		13 13.1			16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	5年前から10年後の未来を見据えて、全社員・スタッフが参加可能な有志の会を作り、様々なテーマでの討論を月1回実施している。															8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【県民の生活を豊かにする文化の提供】番組・イベントを通じて情報・娯楽・文化を提供する。	ニュース・番組を通じた県民への有益な情報提供。コンサート、展覧会等の文化を提供。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【住みやすい街づくり】 “信州に生きるすべての人の幸せのために”、住みやすい街づくりに向けた啓発活動を実施する。	キャンペーンCMによる啓発活動。			3	4				8			11	12	13				17
【働きやすい職場】社員・スタッフが働きやすい職場の提供する。	働きやすい環境の整備、やりがいのある目標の設定、健康に留意するための環境整備。			3		5			8		10							
【エネルギーの効率的使用】脱炭素社会を目指し、省エネ・効率化を図る。	紙の削減・電灯のLED化・燃料の削減							7					12			15		

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）